

## Linux 環境の使い方

ここでは、CentOS 5.8 のイメージを例にとって説明します。DebianGNU/Linux でも同じ手順で利用できるようになります。

### 1. 圧縮ファイルの解凍

ダウンロードしたファイルは Zip によって圧縮されているので、圧縮を解凍します。Windows XP/Vista/7 の場合、ファイルを選択した状態で右クリックし、表示されたコンテキストメニューから [すべて展開] を選ぶと、ファイルを解凍することができます。ウィザードが表示されるので、展開先のフォルダを指定します。

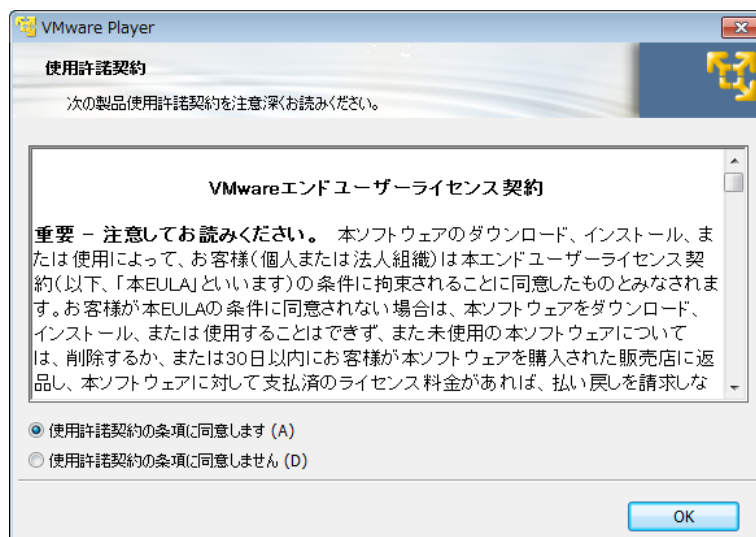
### 2. 仮想マシン環境の実行

仮想マシンを実行するには、VMware Player を起動します。



←ダブルクリック

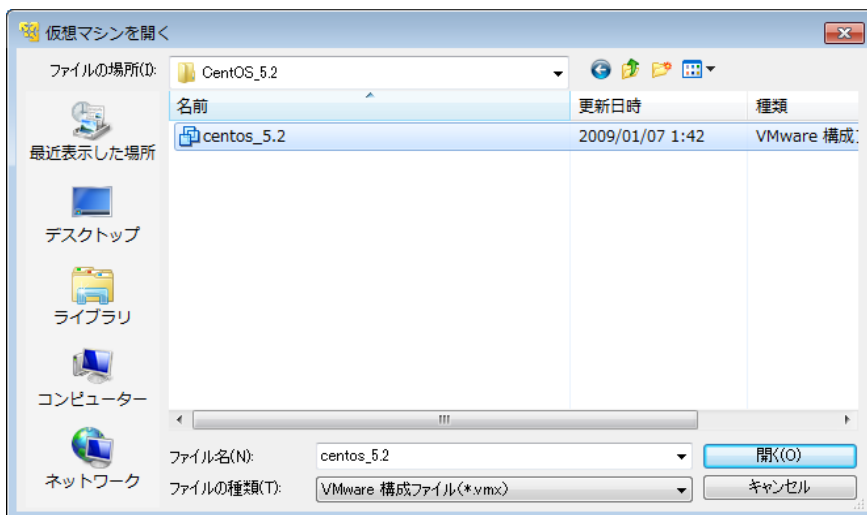
起動すると、初回は使用許諾契約の画面が表示されます。使用許諾契約を確認し、同意を選択して [OK] ボタンをクリックします。



VMware Player のウィンドウが開くので、「仮想マシンを開く」をクリックします。



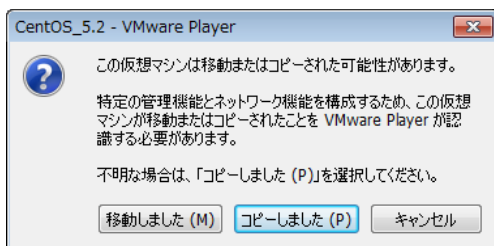
展開したディレクトリの中にある「centos\_5.8.vmx」ファイル（DebianGNU/Linux の場合は「debian6.vmx」）を選択します。



「CentOS\_5.8」を選択して「仮想マシンの再生」をクリックします。

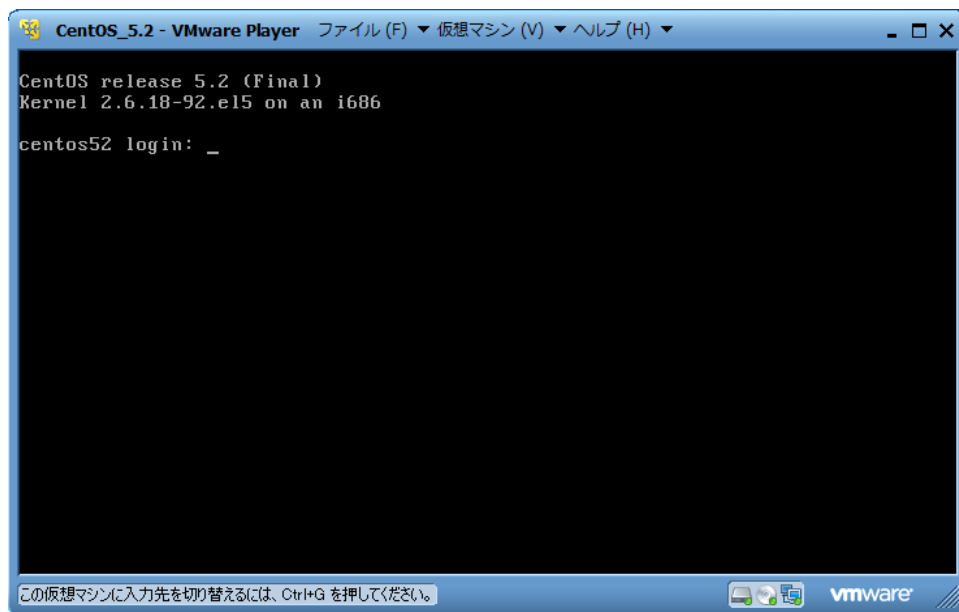


以下のようなウィンドウが表示された場合は、[移動しました] を選択して [OK] ボタンをクリックします。

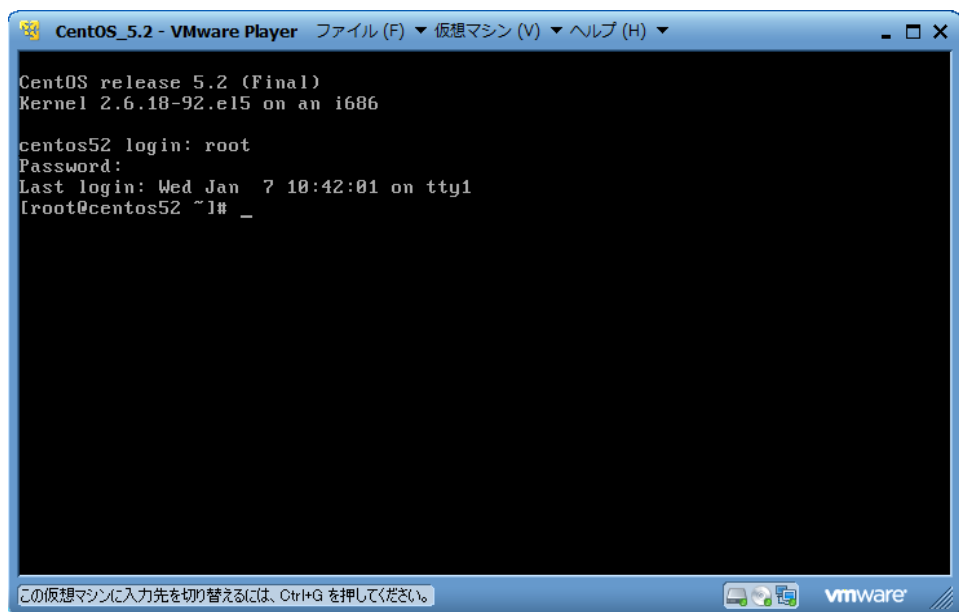


### 3. ログイン

ログイン画面が表示されます。ユーザー名として「root」、パスワードとして「himitu」を指定してログインします。



あとは通常の Linux マシンを利用するのと同じように利用することができます。



仮想マシン環境がアクティブになっているときは、マウスは使用できません。Windows 環境に切り替えるときは **Ctrl+Alt** キーを押します。仮想マシンに切り替えるときは **Ctrl+G** キーを押します。

終了するときは、**exit** と入力し、次のようなメッセージが表示されたら「はい」を選択します。

